

東日本大震災と石巻

宮城県石巻市

- 人口は約21万人（2000年国勢調査時点）
- 世界三大漁場のひとつを有する
- 金沢市から石巻市まで、
直線距離約460km
- 名産品は、笹かまぼこ、たらこ



石巻市の市章

Q, 石巻市の市章の由来は？



- ① ドラえもんを表したものの
- ② みんなで輪になっているところを表現したものの
- ③ “石”の文字を図案化したものの

答えは・・・！？

石巻市の市章



③ “石”の文字を図案化したもの

さん然と輝く太陽、
清らかな月、
夢をもつ星、
が丸く組み合わせられており、
夢と希望があり、発展へのたくましい躍進
と市民全体の融和団結の姿が表されている。

被害と現在

石巻市は、震度6強の地震に見舞われ
ほぼ全域が津波に襲われました。
住宅の多くが津波に押し流され跡形も
なく、破壊されました。
また、2次災害である火災が発生し
住宅や小学校の校舎が全焼しました。



石巻市立門脇小学校

門脇小学校の周辺では、津波直後から火災が発生していました。

校舎に漂着してきた車がぶつかりガソリンに引火したことが原因で校舎は全焼しました。

現在、校庭はきれいに整地され野球チームが練習を行うなど、修復が進んでいます。



石巻市立大川小学校

大川小学校はたくさんの児童が
避難に失敗し、津波にのみ込まれ
犠牲になりました。

現在、遺族の方や
震災から生き残った児童が
「校舎を震災遺構として残してほしい」
と訴えています。



現在の石巻市

現在、石巻市の漁港では震災後63%にあたる企業が再開しています。

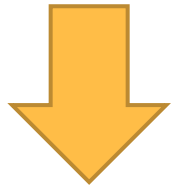
被害を受けた学校、幼稚園などは他校の校庭に仮設校舎をつくったり現校舎での再開など、整備がおこなわれています。

また、商店街や町のあちこちで復旧工事が進められ、地区をつなぐ橋は住民の方が安心して通行できるように修復されました。



いま、私たちができること

「復興」にはまだまだ多くのサポートが必要



私たちに何ができるか

- ・ ボランティアをする
- ・ 寄付をする

・ ・ ・ e t c



ボランティアで大切なこと

〈自由意志〉

誰かから指示されてやるのではなく、自分から行動

〈自己責任・社会責任〉

自由に行動するには、自分の責任で状況を判断し、
自分のためではなく被災者のことを思って行動

〈信頼〉

ボランティア活動はお互いの理解と信頼が必要
お互いを励ましあって行動

最後に問題です！

Q. いま私たちにできることは？

- ①「指示待ち」ではなく、自ら活動を開拓する！
- ②「心の痛み」を思いやって、明るく、礼儀正しく接する！
- ③自己管理をしっかりとって活動を楽しむ！

答えは・・・！？

すべて正解です♡

みなさんも私たちにできることは何かを考え、
ボランティア活動に励みましょう！



ご清聴ありがとうございました

